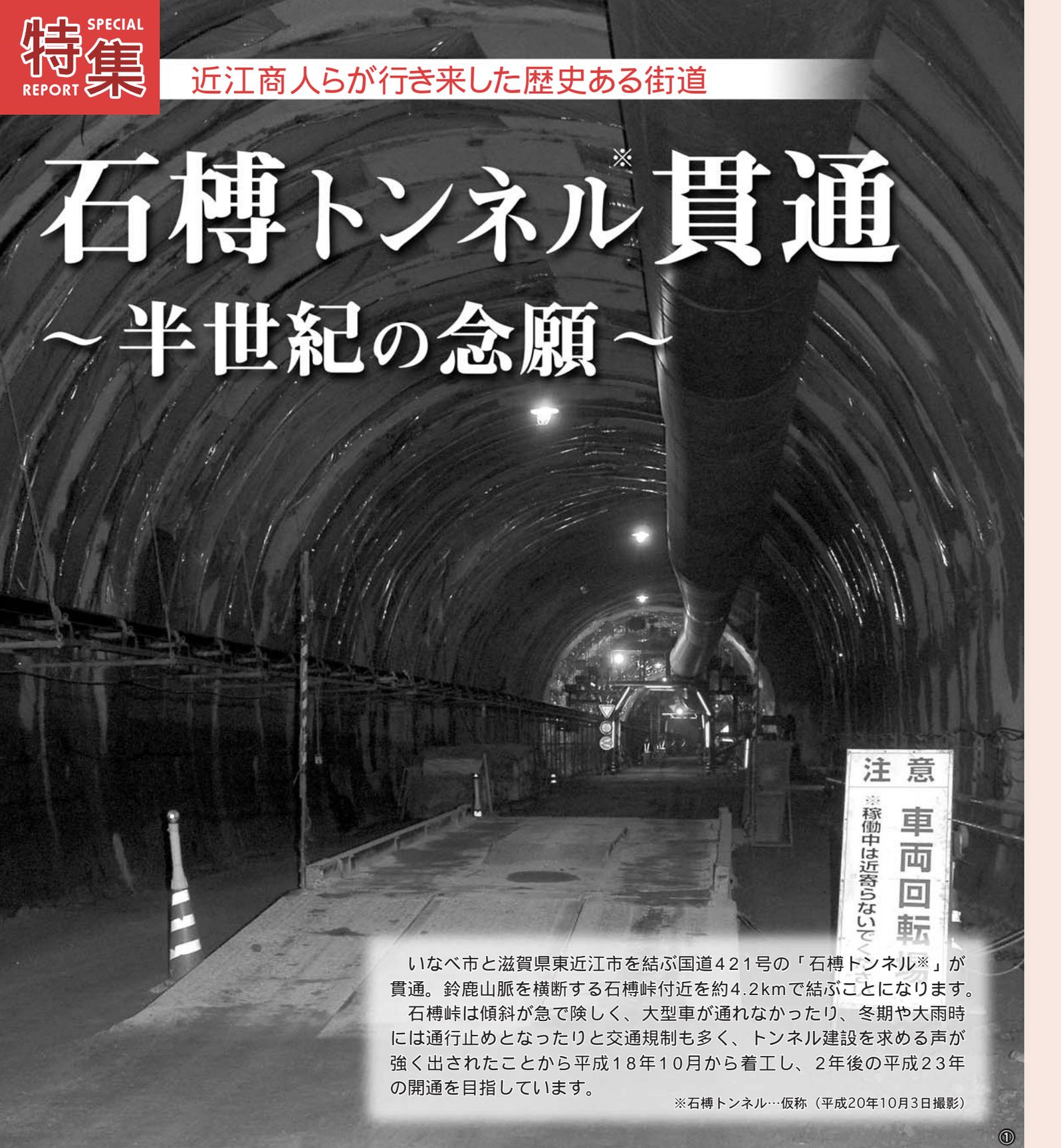


石樽トンネル[※]貫通

～半世紀の念願～



いなべ市と滋賀県東近江市を結ぶ国道421号の「石樽トンネル[※]」が貫通。鈴鹿山脈を横断する石樽峠付近を約4.2kmで結ぶこととなります。石樽峠は傾斜が急で険しく、大型車が通れなかったり、冬期や大雨時には通行止めとなったりと交通規制も多く、トンネル建設を求める声が強く出されたことから平成18年10月から着工し、2年後の平成23年の開通を目指しています。

※石樽トンネル…仮称（平成20年10月3日撮影）

①



②

交通の動脈

トンネルの開通で活発な交流...

桑名市から東近江市まで約110分が約80分になり、約30分の短縮（迂回していた大型車は約45分短縮）。年間を通じて安定的に両県間を行き来することができるようになります。

①②貫通前の工事中的の写真

【現在、トンネルは貫通しましたが、一般車両の通行はできません。】



③

交流の覚書調印

中部圏と近畿圏の玄関口への発展を目指す

覚書は、トンネルの開通で両市を結ぶ石樽峠の交通問題が解消されることや、北勢(三重県)と湖東(滋賀県)が最短距離で結ばれ、安定した道路環境が確保されることで、交通の利便性が増し、産業や文化、人の交流が活発化することが予想されることから、友好的に両地域間の発展を目指そうと結ばれました。

③将来的な災害時相互援助協定等も視野に入れての「地域間交流に関する覚書」の調印式を大安庁舎で行いました。

貫通式

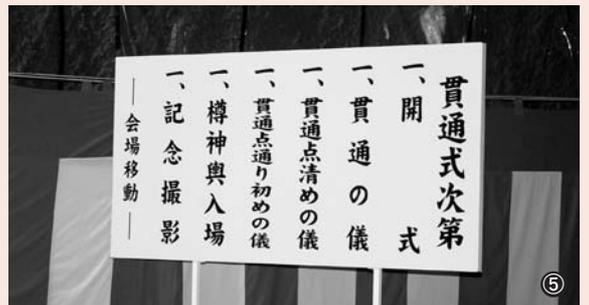
1月30日、トンネル坑内で350人の関係者がトンネルの貫通を祝いました。爆音とともに、トンネルが一つにつながり、悲願のトンネル貫通となりました。



⑧



④



⑤



⑨



⑦



⑥



⑩

- ④発破点火式「ド・ド・ドン！」坑内に響く爆音 発破の音が耳に響き、波紋のような風が顔に感じられ、なんともいえない空気に包まれた
- ⑤厳かに、そして無事開通することを願い式典が進む
- ⑥貫通点清め 塩・米・酒で坑内を清め通り初め
- ⑦両県代表が熱い握手を交わし貫通を喜ぶ
- ⑧バンザイの声が響きわたる
- ⑨工事関係者がたるみこしを担ぎ「わっしょい・ワッショイ！」のかけ声で盛り上げた
- ⑩貫通式をにぎやかに演出する鏡開き